

こころんねっど

第16号

「地域福祉活動計画」を支える プロジェクトチームの 取り組み **特集** P4～です



松栄学区福祉推進協議会（推進協）主催のたまり場「藤成いきいきサロン」での津軽三味線コンサートのひとコマ。推進協メンバーでもあるたまり場プロジェクトチーム員も運営に参画しています。

もくじ

健康長寿のトップランナー …… 2	特集 「地域福祉活動計画」を支える プロジェクトチームの取り組み 4～6
若いパワーが地域を変える！ …… 2	
地域の一番星☆ …… 2	推進協発！福祉のたねまき …… 6
玉腰先生の ココロまんぶくお料理レシピ …… 3	しょうわ 町・名・散・歩 …… 7
みかちゃんの ゴーイングマイウェイ …… 3	社協からのお知らせ …… 7
	投稿王国 …… 7
	講座・案内・寄付 …… 8

協
議
会
つ
て
な
に？

社会福祉協議会は、誰もが安心して暮らすことのできる昭和区のため、住民のみなさんと一緒に福祉活動を計画し、実施していく民間の団体です。

マスコットキャラクター「こころん」



あたたかい心で
福祉のタネをまく

イメージから生まれました。

健康長寿のトップランナー

元気なシニアの“若さの秘けつ”を
突撃レポート！

廣江昭二さん 陶芸講師

陶芸の魅力にとりつかれ

社会福祉法人『名古屋ライトハウス』
内で、視覚障がいを持つ利用者の方
に陶芸を教えている廣江昭二さん。
この活動を始めて、15年近くがたち
ます。



郵便局を定年退職し、高年大学に通う中で出会
ったのが陶芸でした。「ものを作り、仕上げる面白さに
魅了され」、窯を購入するほどのめり込みました。

ライトハウスで陶芸を教えるのは、1カ月に5日ほ
ど。完成には2カ月ほどかかりますが、利用者さんが
作った湯飲みや花器などの作品は、手作りならではの
温かみに溢れています。「ものを作る楽しみはもち
ろん、粘土を触り、握力を使うことで、機能訓練にも
つながります」と、廣江さんは言います。

自身も「守山陶芸クラブ」などに所属し、仲間と切
磋琢磨しながら腕を磨く日々。「これからも、より多
くの人に陶芸の魅力を伝えていこうと思います」と、
目を輝かせます。



ライトハウスでは、
障がいをお持ちの方
に様々な支援を行っ
ています。相談など
詳しくはお問い合
わせください。

名古屋ライトハウス
昭和区川本町1-20
TEL: 751-1268

若いパワーが地域を変える

ボランティア活動でかがやく昭和区内の
学生サークル・団体を紹介します。

南山大学ボランティアサークル

学内外で花開くボランティアの輪

1978年に結成され、今年で33周年を迎える伝統
的なサークル。現在、約50人の学生が在籍しています。
犬山市の児童養護施設「溢愛館（いつあいかん）」で子
どもに勉強を教えたり、自閉症の子どもと家族を応援
する施設「さわらび園」でお手伝いしたりと、活発な
活動を展開しています。昨年の大学祭では、ルワンダ
やバングラディッシュのストリートチルドレンを題材に
した紙芝居を披露し、内外から大きな反響を得ました。

会計の伊藤肇彦（はつひこ）さん（人文学部3年）は
「活動で、障がいのある子どもとふれあったことをき
っかけに、福祉の道に進もうと思いました」と、ここ
で得られたものの大きさを語ります。主幹の小椋一樹
さん（法学部3年）は「未経験でも参加できるのが、ボ
ランティアのいいところ。活動を通して、一人ひとりが
主体的な活動に取り組んでほしいですね」と、後
輩の活躍に期待を寄せます。



学内で行っている献血の活動



毎週1回のミーティングに主要メンバーが集まります

昭和区

地域の一番星

昭和区内で福祉にがんばる人々をリレーで紹介します。

齋藤美予さん(24) 昭和警察署 地域課 地域第三係

さわやか笑顔で地域の安全を守る



「空き巣や車上狙い、振
り込め詐欺など、多発す
る犯罪に注意してください」
と、呼びかける齋藤美予
さん。交番勤務という地
域防犯の最前線で、さわ
やかな笑顔を振りまきます。

「子どもの頃から警察官に憧れていました」という
齋藤さん。浜松市出身で、大学進学のため名古屋に。
在学中はボランティアサークルに在籍し「活動の一環
で参加した防犯パトロールで、愛知県警の方と行動を

共にしたことから、警察官への思いが一層強いもの
になりました。

愛知県警の採用試験に合格し、平成21年9月から、
昭和警察署の地域課に配属されました。「地域課は事
件や事故の対応から、落とし物の手続きまで、あらゆる
場面に対応する必要があります」と、齋藤さん。その
一つひとつに真摯に取り組み、経験を積んでいます。

女性が事件の当事者だった場合など、女性警察官が
必要とされる場面は少なくありません。「女性として
の持ち味をいかし、地域の安全に頑張っていきたいで
すね」と、気を引き締めます。



手軽につくれて
栄養いっぱいの
レシピを
ご紹介します!

玉腰先生の **ココロまんぷく**

お料理レシピ

vol.16 パパに手作りフォンダンショコラ



外はサクサク、中はトロ〜リのチョコがたまらない、おいしいスイーツです。混ぜて焼くだけ!の簡単レシピ。今年は手作りバレンタインに挑戦してみたいはかがですか?

【材料 ココット型またはマフィン型 4個分】

・板チョコ(ビターでもミルクでもお好きな味で)	90g	・砂糖	20g
・バター(マーガリンでも可)	70g	・薄力粉	30g
・卵	2個	・粉糖	適量

【作り方】

1. 耐熱ボウルに板チョコを割り入れ、バターを加えてラップなしでレンジで加熱(目安は70秒)、溶けたら混ぜる。
2. 別のボウルに卵と砂糖を泡立て器でよくかく拌し、少し泡立て、1.を加えてさらに混ぜる。
3. 2.にふるった薄力粉を少しずつ加え、さっくり混ぜ合わせる。
4. 型に8分目まで流し入れ、あらかじめ180℃に加熱したオーブンで10分焼く。
5. お好みで粉糖をまぶして完成。

Lea Lea Hale 玉腰明子(管理栄養士)

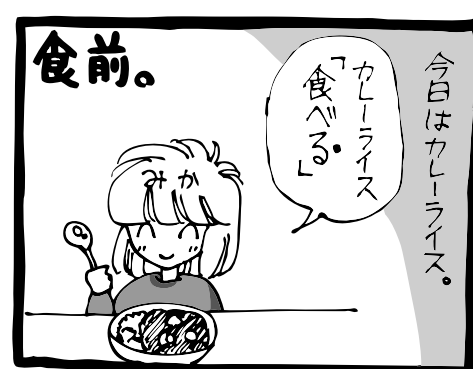
ポイント!

- ・焼き過ぎると中が固まってしまうので注意しましょう。
- ・冷めたら、食べる直前にレンジで10秒ほど温めると、再びサクトロ感が楽しめます!

みかちゃんの ゴーイングマイウェイ

第6回 カレーを食べた〜過去・現在〜 画: 琴子

てにをはに過去形と現在形...ことばってフクザツ。うまく使いたまわさずまちがわれかなわたりた方には外国語みたいなきものときもありません。長長につきあって下さい...



作者しようかい●琴子..成人になつてからアスペルガー症候群(自閉症の傾向はあるが知的障害を伴わない)の診断を受ける。みかちゃんは自分の分身。

「地域福祉活動計画」を支える プロジェクトチームの取り組み

セーフティネット委員会「こころんセーフティネット支援帳 2010」が完成!

専門職同士がつながる ネットワークの必要性



セーフティネット委員会
副委員長の鈴木弘子さん
(薬剤師)

区内の保健・医療・福祉の専門職が集まる、セーフティネット委員会。このほど、その成果となる「こころんセーフティネット支援帳2010」が完成しました。

もともとは「専門職部会」として発足したセーフティネット委員会。メンバーは、社会福祉協議会の呼びかけに応じて集まった、保健・医療・福祉の専門職の人たちです。

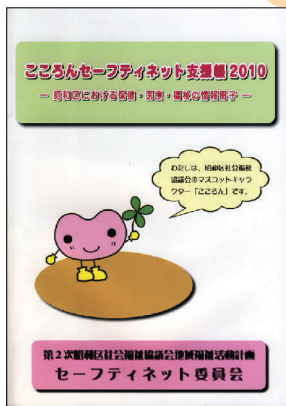
結成は平成20年2月。当初は「集まってはみたものの、何をすればいいの? という感じでした」と、鈴木弘子さんは苦笑します。

そこで活動の手始めとして「事例検討会」を開催。その中で見えてきたのは、多業種間のネットワークの薄さでした。「お互いのことをこんなに知らないとは驚きでした」。

たとえば、薬のプロである薬剤師と、福祉のプロであるケアマネジャーが、職場を越えて情報共有し合えば、より適切な対応が可能です。しかし「当時は、情報共有という発想すらありませんでした」。

そんな現状を打開するために取り組んだのが、ガイドブックの作成でした。作業は、平成21年夏からスタート。毎月1回委員が集まって意見を出し合い、1年半かけて、平成22年11月に完成にこぎ着けました。

「支援帳」を有効活用し 確かなセーフティネットを



こころんセーフティ
ネット支援帳 2010

「こころんセーフティネット支援帳2010」には、高齢者や障がい者、子育てなど各分野別に詳しくニーズ(困りごと)を整理し、それぞれに相談先を記載しました。各専門職が、利用者(患者)の方から専門領域以外の相談を受けた時、あるいは「何か困りごとがありそうだな」と気づいた時に、この支援帳を開いて、相談先につなげます。「大きくアンテナを張ることが重要です」と鈴木さん。

区内に住む人が、安心して毎日の生活を送ることができる。そんなセーフティネットの将来を考えると「新しいしくみをつくる前段として、既存のものを有効活用することにより、解決できることは多いと思います」と、鈴木さんは言います。

「これだけの多業種同士が集まって議論しているのは、昭和区だけです」と、鈴木さんは胸を張ります。そして「それぞれの現場で支援帳を有効に活用してもらい、専門職同士のネットワークを区内全体に広げることが、本当のゴールです」と、鈴木さん。今後は支援帳を片手に直接出向き、活用のすすめを各方面に呼びかけるそうです。

●活用事例1 (医師編)

主治医が往診していたら、重度障がいの息子がいた。高齢の患者一人で介護をしていた。

ご本人に了解を得て、障害者地域生活支援センターに電話をした。

●活用事例2 (民生委員編)

敬老の日の祝品を届けたら、嫁いだ孫娘が来ていた。うつむき加減の顔にはアザがあった。

事情を聞いても口ごもっていたが、DVではないかと思った。

名古屋市DV被害者ホットラインの電話番号を教えた。



「誰もが支えあい、安心して当たり前で暮らせるまち」を目指して作成された『第2次昭和区社会福祉協議会地域福祉活動計画』。今回はそのプロジェクトチームの取り組みを紹介します。

たまり場プロジェクトチーム「たまり場交流会」を開催！

たまり場同士の 有意義な交流会



10月29日（金）、昭和区社会福祉協議会でたまり場プロジェクトチーム企画による『たまり場交流会』が開催されました。

人と人とのふれあいが減った現代社会にあって、昔はどこにでもあった「たまり場」が、地域のサロンという新しい形で広がりを見せています。高齢者や子育て中のママさんなど、たまり場の趣旨はさまざま。今回は、そんなたまり

場同士の情報交換と交流の場として、企画されたものです。

当日は、区内で活動する15のたまり場から約50人が参加。リズム体操で初対面同士の緊張をほぐし、その後は高齢者型と子育て型に分かれ、グループ座談会を行いました。規模や運営方法、悩みや改善点を話し合うなど、活発な意見交換ができました。

「無理せずに長く続けていきましょう」と声をかけ合う、有意義なひとときになりました。

たまり場プロジェクトチームでは、たまり場への参加はもちろん、たまり場を立ち上げたい人や、場所を提供していただける人を募集しています。詳しくは、社協までお問い合わせください！



グループ座談会では活発な意見が飛び交いました

「たまり場通信」創刊号 ができました！



昭和区内で活発に運営されている「たまり場」。その取り組みがひと目でわかる「たまり場通信」を、たまり場プロジェクトチームが創刊しました。開催日時や活動内容など、情報が満載です。社協や区内公所で配布しています。



Q こころん、
たまり場って
なに？



A 身近な地域で、いつでも誰でも気軽に集まれる場のこと。たまり場から生まれる交流や支えあいが、地域のつながりを強めるんだよ。



豊中市社会福祉協議会へ 視察に行ってきました！

10月15日（金）、大阪府の豊中市社会福祉協議会への視察を行いました。

豊中市社協では、地区ごとに「福祉なんでも相談所」を開設し、地域住民の方のふれあいの場として、また情報提供の場として大きな成果を上げています。この視察には、日本福祉大学の原田正樹先生をはじめ、事務局や各プロジェクトチーム代表者の13人が参加しました。

午前「地域福祉活動計画と福祉なんでも相談について」とのテーマで講義を受けました。午後からは、福祉なんでも相談所相談員の方との懇談会を行い、その後、実際に福祉なんでも相談所の視察に伺いました。



視察に参加した事務局と各プロジェクトチームの代表者

「困ったときでも、社協が支援してくれるから安心です」という住民の声に、社協と住民との深い絆を感じました。

昭和区の約4倍の人口がある豊中市で、このような小地域活動が実践されていることに、大きな刺激を受けました。



しょうわ 町・名・散・歩

私たちが暮らす町の、名前の由来や話題を探ってみましょう。



加藤 龍明 (かとう・たつあき)
中日新聞を退職後、文章サークルの講師を務める。現在「昭和区案内人クラブ」会員。

ごきそ 第1回 御器所

昭和区を代表する町「御器所」は、昔、熱田神宮に納める土器を作った地と伝えられています。御器所通交差点西北角に昔をしのばせる焼き物のモニュメントが設置されています。ただ、その呼び方に戸惑う人もいますようです。

漢字の音読みには、呉音や漢音に代表されるように、複数の読み方があります。漢音では「所」を「そ」と読みますので、御器所もこの読み方に当てはまります。余所(よそ)の町、他所(よそ)の人、と書き表すように。

御器所は漢音の「所(そ)」を含む、貴重な地名です。ちなみに、三重県津市には納所(のうそ)町があります。



御器所通交差点の道路標示

社協からのお知らせ

第4回 赤い羽根チャリティ展覧会開催しました

平成22年10月4日(月)から12月25日(土)まで、19名のクリエイターと昭和区民の方、障がいをお持ちの方が参加して「第4回赤い羽根チャリティ展覧会」を、昭和区社会福祉協議会2階通路で開催しました。

油彩、水彩、鉛筆画、版画、コンピューターグラフィックスなど様々な作品延べ255点を展示し、多くの方々にお楽しみいただきました。

原画・ポストカード等の売上げの一部(156,480円)を赤い羽根共同募金にご寄付いただきました。



共同募金にご協力ありがとうございました!!

平成22年度の共同募金運動は、皆様のご理解と温かいご支援をいただき大きな成果をあげることができました。

一般募金 9,247,324円
歳末たすけあい募金 246,272円 (1月20日現在)

皆様からお寄せいただきました募金は、愛知県共同募金会でまとめられた後、約2割は愛知県内の社会福祉施設の整備などに活用されます。残りの約8割は昭和区社会福祉協議会に配分され、昭和区内の子ども会や老人クラブ、障がい児者団体、ふれあいサロン活動など様々な地域福祉活動に活用されます。皆様のご協力に心よりお礼申し上げます。(昭和区共同募金委員会)

平成22年度「福祉教育セミナー」開催

子どもたちの福祉への理解を進めるため、主に学校における福祉教育に関わる方を対象に行う研修です。

日時: 2月22日(火) 午後3時30分~5時

場所: 昭和区社会福祉協議会

対象: 区内の小・中・高等学校教員、その他福祉教育に関心のある方

申込み・問合せ先: 昭和区社会福祉協議会

投稿 王国

短歌「雪」

今年の冬は本当に寒いですが、季節感があっていいものです。草木の芽吹く春はもうそこまで…。

雪を得て
富士の威容は
高まりて
日本一の
山となりけり
△三映子さん▽

牡丹雪
蛇の目の傘を
撓しならせて
和服の美女が
嫋たもやかに行く
△素石さん▽



募集&プレゼント

次号の投稿テーマは、写真投稿「自慢のわが家族」です。テーマに沿った写真を撮影していただき、住所・氏名・年齢・電話番号をお書き添えの上、4月末日までに昭和区社会福祉協議会までお送りください。採用された方に、図書カードを差し上げます。応募先はP8の問合せ先をご覧ください。お待ちしております。

講座・案内 福祉推進を目的とした各種イベント、行事、講座等（原則無料のもの）を紹介します。

高齢者はつつ長寿推進事業 はつつクラブ参加者募集
介護予防への理解を深め、自主的な活動や地域活動などを通じて、地域でいきいきとした生活が送れるよう支援する事業です。

- 内 容：参加者の皆さんと一緒に、健康体操、音楽、外出、レクリエーションなどを実施。
- 参加期間：4月～9月の6カ月間（基本は月4回、毎週1回）
- 場 所：別表から選択
- 対 象：市内在住の65歳以上の会場まで自分で来られる方（介護、看護等個別対応が必要でない方）
- 定 員：1会場あたり23名
- 費 用：無料（材料実費分など一部有料）
- 申 込：2月10日（木）から2月28日（月）

はつつクラブ実施会場

曜	時	実施会場
月	午前	昭和スポーツセンター
	午後	八事コミュニティセンター
火	午前	広路コミュニティセンター
	午後	シティーファミリー八事 集会所
水	午前	昭和区社会福祉協議会
	午後	市営住宅松風荘 集会所
木	午前	白金コミュニティセンター
	午後	川原コミュニティセンター

参加者の声

老いてなを
学ぶ楽しさ
はつつへ

ストレッチの日。帰る頃には体が軽くなっていることを実感する！ありがとう。

音楽の時間。心も体もホッとする。だから私は、音楽がだい大好き!!

はつつクラブのおかげで友達もでき、元気をもらいました。

絵手紙を教わった日、楓の画とクラブの楽しい様子をしたため、投函。感謝の日となりました。



担当の山口です。毎週、楽しいプログラムをご用意し、皆さまをお待ちしております。ご一緒に、明るく・楽しく・元気に、はつつとした時間を過ごしましょう！

寄付

次の方々より本会へご寄付いただきました。寄付金は昭和区の社会福祉の推進に有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

- はつつクラブ 様
- 昭和区女性レクリエーションバレーボール連絡協議会 様
- 村雲女性会 様
- 匿名 2件

編集後記

- 地域福祉活動計画の取り組みが皆様に少しでも理解して頂く為に。 M・H
- たまり場は、高齢者が歩いて行ける範囲にあることが理想です。区内に順次広がると良いですね。 H・K
- 今年のバレンタインは娘とフォンダンショコラを作ってみようかなと思っています。 Y・T



**こころんねっと 第16号は
いかがでしたか？**

「こころんねっと」へのご意見、ご感想をお寄せください。お待ちしております。また、目の不自由な方へ、この情報紙「こころんねっと」を録音したカセットテープの貸し出しを行っています（無料）。ご希望の方はご連絡ください。講座案内の掲載についてもお問い合わせください。

問 合 せ 先：〒466-0051 名古屋市昭和区御器所三丁目18番1号
TEL:052-884-5511 FAX:052-883-2231
E-mail: fukushi@showaku-shakyo.jp

交通のご案内：地下鉄：鶴舞線「荒畑」駅4番出口から徒歩5分
市バス：栄20系統・金山26系統「荒畑」下車



<http://www.showaku-shakyo.jp>

発行 社会福祉法人名古屋市昭和区社会福祉協議会
〒466-0051 名古屋市昭和区御器所3-18-1
TEL:052-884-5511 FAX:052-883-2231
E-mail:fukushi@showaku-shakyo.jp URL:http://www.showaku-shakyo.jp

編集 株式会社リベルタ
〒468-0053 名古屋市天白区植田南3-501 パークハイツ103号
TEL:052-808-0420 FAX:052-808-0421
E-mail:libertad@mbp.nifty.com

発行日:2011年(平成23年)2月